

平成24年度、自己点検・自己評価の結果

1. 評価項目

看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会でまとめた「看護師養成所の自己点検・自己評価指針」に基づいて行った

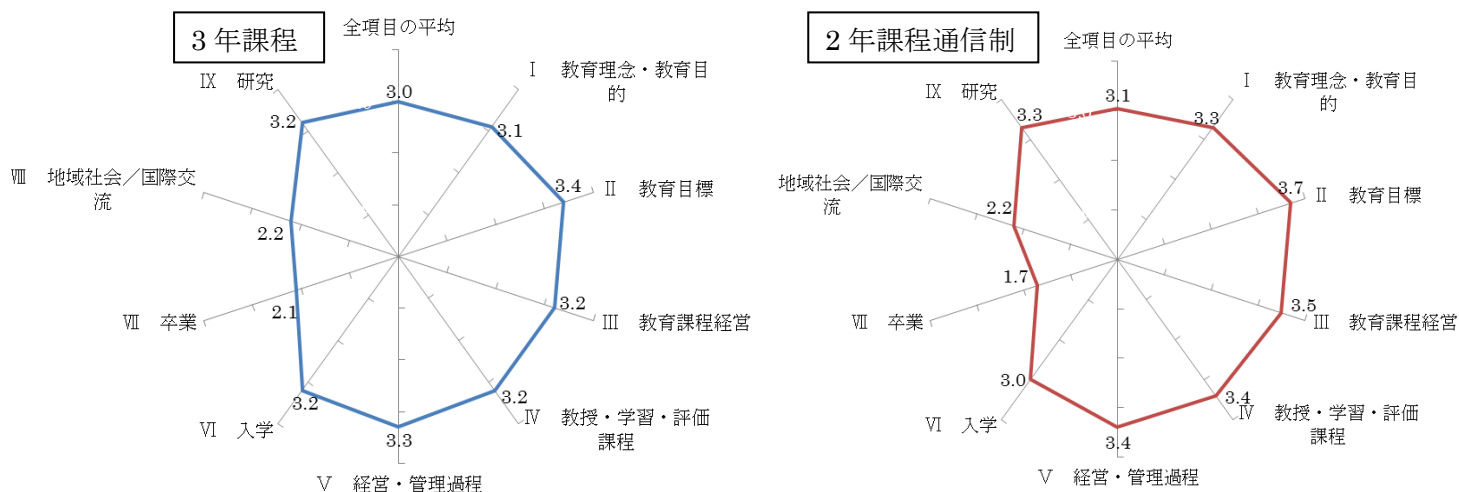
2. 評価基準

- | | |
|---------------|----------------|
| 4点：よく当てはまる | 70%以上満たしている |
| 3点：当てはまる | 30%～70%位満たしている |
| 2点：あまり当てはまらない | 30%以下しか満たしていない |
| 1点：当てはまらない | 満たしているものがない |

3. 評価者

教員全員と法人の担当理事及び事務長で行った。

4. 結果（詳細は別紙添付）



5. 総括

3年課程、2年課程通信制ともに大項目の9項目のうち3点台が7項目、2点台が2項目である。2年課程通信制では、開設2年目であり卒業生が出ていないので、評価のできない項目もある。平均点が2点台の大項目二点と中項目四点について検討する。

① 「教育課程経営の活動」について

教育課程の実践や評価結果を教育課程の改善にどうつなげていくか明確にしていない。評価を充実させていくと同時にその評価をふまえた改善ができるようなシステム化が必要である。

② 「教員の教育・研究課程の充実」について

専門性を発揮できるよう、領域別の担当としているが、領域によっては、経験が充分でなく専門性を深めた教員が担当できない場合がある。教員採用の際には考慮すべき最優先課題であるが、看護教員が不足の現状では教員の確保を優先せざるを得ないのも実情である。今後、研修や研究に取り組んで、担当となった教員は自己研鑽に努め専門性を高めていく必要がある。

一人の教員が担当する授業時間数は、保健師助産師看護師法で示す 1 週間あたりの授業時間数を越えない範囲になっている。しかし授業準備の時間が充分に取れていないと実感している理由を考えると、授業以外の学生指導や、業務としての役割に割く時間が多いと考える。今後業務改善を図っていくことや、効率の良い業務について各自が工夫すること、学生指導のシステム化等について考えていく必要がある。

③ 「自己点検・自己評価の体制」について

全項目が 2 点台である。自己点検・自己評価に取り組み始めたばかりであり、評価項目や評価基準について充分検討されていない。また、教職員全員が共通認識のもとに取り組めていない現状である。今後、研修への参加や勉強会等の開催を行い教職員の意識の向上に努めると同時に、評価の体制を整えて、教育活動の質向上を目指したい。

④ 「卒業」について

実習病院に就職した卒業生については、実習中に接することや、病院の責任者やスタッフから情報を得ることでほぼ把握できているが、実習病院以外の施設に就職した卒業生の活動状況や、就職先の評価等はほとんど把握できていない。就職先での評価等を把握するシステムづくりが必要となる。また、卒業生の到達度の分析をする際は、就職先の評価等を合わせて考えていく必要がある。

⑤ 「地域社会」について

地域との連携については、必要時行っているが、定期的にニーズの把握をするシステムはできていない。学校からの情報発信をさらに丁寧に行うと同時に、何らかの工夫をしてニーズの把握に努め、連携を図っていきたい。

⑥ 「国際交流」について

海外からの帰国学生や、留学生の受け入れについては、保健師助産師看護師法に示されている条件を整えるのは現時点では無理であり、改善は困難である。自己学習に適した環境は、工夫をして整えていきたい。

自己点検・自己評価にようやく一步踏み出せました。

不備な点や不足な点は多々あり、満足のいくものではありませんが、ご指摘を受ける覚悟で公開致しました。

評価基準の吟味や評価の根拠となる考え方の共通認識、さらに評価結果を活用していく方策の検討等々、取り組まなければならないことは山積みです。

さらなる教育の質の向上を目指し、社会の求める、とりわけ地域で求める看護師として卒業生を送り出せる様、自己点検・自己評価を充実させていく所存です。